

## bluetones『遠くの空』

頬を伝う突然のにわか雨が  
先を急ぐ僕らを立ち止まらせる  
軒先から並んで空見上げれば  
いつの間にか雨音がスローリズム刻む

水溜まりを跳ねて遊ぶ子どもたち  
僕らは一足で跨いで前に進むのさ

まだ遠くの空に射し込む幾筋もの光  
その下の景色をいつかきっとキミと見たいんだ  
背中に滲む雨と親しんだあの街の灯り  
小粋な歌口ずさみながら僕らはゆく

何もない筈の場所で足がもつれ  
転んで付いた傷もいつかは癒えるのさ

まだ遠くの空に射し込む幾筋もの光  
その下の景色をいつかきっとキミと見たいんだ  
背中に滲む雨と親しんだあの街の灯り  
小粋な歌口ずさみながら僕らはゆく